

松山理事長が WTTC グローバルサミット 2016 に参加

松山理事長は、4月6日、7日に米国ダラスで開催された世界の観光関連団体・企業のトップが集まる WTTC (World Travel & Tourism Council、世界ツーリズム協議会) グローバルサミット 2016 に参加しました。今回のグローバルサミットでは「Travel Beyond Boundaries」と題し、テロや難民問題を受け排他主義的な傾向が強まる中、雇用を生み出し世界の GDP の 10% の経済規模を誇る観光産業の重要性を打ち出す強いメッセージが出されたほか、開催地米国の観光客誘致戦略、官民のパートナーシップ、サステイナブル・ツーリズム、航空やクルーズの課題など、幅広い議題について議論がなされました。

サミット 2 日目には、日本からグローバルサミットに参加した観光庁及び観光関連団体・企業と協力し、サミットに参加する海外メディアや観光関係者を対象としたプレスカンファレンスを実施しました。観光庁・古澤審議官の挨拶の後、JNTO 松山理事長が代表して「Japan Updates」と題しプレゼンテーションを行い、現在の訪日外国人旅行者のトレンド、インバウンドの新政府目標「2020年：訪日外国人旅行者数 4,000 万人、訪日旅行消費額：8 兆円」や「地方創生への貢献」「欧米豪からの誘客強化」といった JNTO の戦略について発表しました。

プレゼンテーションの後、今回のサミットに併せて開催された WTTC 理事会にて新たに Vice Chairman (副会長) に任命された株式会社ジェイティービーの田川会長が挨拶を行ったほか、他の日本側参加者と参加メディアとの間で日本の観光政策や現状について活発な意見交換が行われました。

プレスカンファレンス日本側参加者

日本政府観光局 (JNTO)	理事長	松山 良一
観光庁	審議官	古澤 ゆり
株式会社ジェイティービー	代表取締役会長	田川 博己
東日本旅客鉄道株式会社	常務執行役員	横山 泰和
日本航空株式会社	取締役会長	大西 賢
株式会社プリンスホテル	執行役員	ヴィクター大隅



WTTC グローバルサミットの様子



プレスカンファレンスの様子